

**製品名: 嗅覚受容体 2I1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15193**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OR2I1P
別名	OR2I1P; OR2I2; OR2I3P; OR2I4P; Putative olfactory receptor 2I1; Putative olfactory receptor 2I2; Putative olfactory receptor 2I3; Putative olfactory receptor 2I4
遺伝子 ID	442197.0
SwissProt ID	Q8NGU4
免疫原	抗血清はヒト OR2I1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 261-310

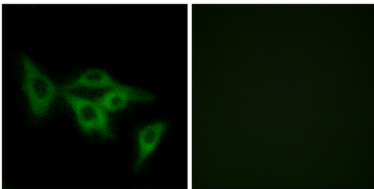
**背景**

嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚の知覚を引き起こす神経反応を惹起します。嗅覚受容体タンパク質は、単一の

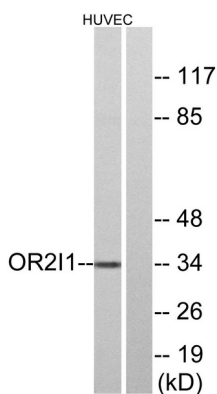
コーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーに属します。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7 つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、注意：偽遺伝子の産物である可能性があります。機能：嗅覚受容体、類似性：G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。

## 研究分野

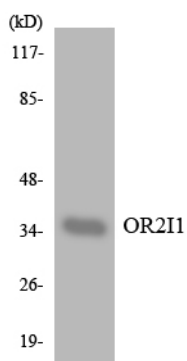
## 画像データ



OR211 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



OR211 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



OR211 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。